



卷頭言



会長 坂本 祐之輔

まもなくスキーシーズンが到来します。「年歳歳花相似たり、歳歳年年人同じからず」という言葉があります。これは「毎年毎年、花は変わることなく咲く。人の世の変わりやすいのに比べ、自然は変わらない」ことの、たとえです。

日本スキー指導者協会もおかげさまで30周年の節目を迎え、新たなる1年目のスタートを迎えることができました。30年という長い年月の中で、田英夫前会長をはじめ、多くの先人・先輩の方々によって歴史を刻んできた日本スキー指導者協会。この間多くのスキー指導者と共に日本のスキー界の発展を担ってきました。

今も、冬になると自然は昔と変わることなく私たちを迎えてくれます。私たちスキー指導者が歩んできた道は、スキーシーズンばかりでなくスキースポーツを通して、日々、人として生きる道を学び歩んできたものではないでしょうか。

中国の史記李將軍伝贊にはこのような言葉が残されています。「桃李（とうり）もの言わざれども下（した）自（おのずか）ら蹊（みち）を成す」。すなわち「桃やすももは何も言わないが、花や実を慕って人が多く集まるので、たとえ山の奥深いところにあっても、その下には自然に道ができる。徳望のある人のもとへは人が自然に集まる」ことのたとえです。私は、こ

の言葉をスキー指導者として肝に銘じてきました。たとえ、将来スキー場で自ら実技を踏まえて実践指導をできなくなっても、自ら徳を積むために日々精進しさまざまな「志」を持つ若い人たちに、スキースポーツを通して自ら学んできたことを伝えていきたいと。

指導者の条件については、「論語」にも記されています。指導者は「温・良・恭・儉・讓」すなわち「温厚で善良、恭順で儉素、そして謙虚」であることが大切。そしてさらに九思が必要である。九思とは「明・聰・温・恭・忠・敬・問・難・義」。これは「物を見るには細かいところまで見届け、聞く時には、しっかりと聞く、顔つきは穏やかに、身振りはつましく、物いうときは真心を込めて、仕事をするときは慎重に、わからないときは質問を怠らず、腹が立っても後難を考え、利益を前にしては道義を思う」という意味で、指導者が常に心がけるべきこととしています。

日本スキー指導者協会は30年の歩みを遂げてきました。今、スキースポーツを取り巻く環境は時代の流れと共に大きく変化しています。しかし、私たちはスキースポーツから学んだことを生かしながら、指導者として後進を育て支援し、自らが、自然と一体になれるすばらしい「スキースポーツ」の発展のために誇りを持って活動していくこうではありませんか！

林 権一さんを偲んで思うこと

「降る雪や昭和は遠くなりにけり 技術・資格と山を忘れて」

本平成27年の正月あけに悲報が飛び込んできた。日本スキー指導者協会の重鎮林 権一さんの逝去である。あの素晴らしい笑顔が見られることはもうないので。

今更いうまでもないが、林さんはヌプリスキ一同人の創立者、また、二代目会長として東京都スキー指導員会をバックに活動をしていただいた方である。たまたま、本日、林 権一さん（以下ゴンさん）と亡父孝行の昔の書簡を偶然に発見し、見ていたら、はからずも1975年当時、小生が丁度、現S A J理事の増田千春君（当時デモ）と一緒に、チェコスロバキアのビックエタトリに遠征した途中フランクフルトに寄り、そこで、当時滞在していた亡父孝行が菅秀文さん、松浦益司郎さん以下の全日本のデリゲーションと会い交流した時の模様を、ゴンさんに事細かに報告している手紙が出てきた。この手紙は平成18年にゴンさんがC O P Yして小生に下さったものである。手紙を見ると、当時東京都スキー指導員会の会長であった孝行とゴンさん、いかに濃密な本質的なコミュニケーションを交わしていることが汲みとれる。手紙の中で、ゴンさんが、眞の指導者難を嘆いていることに対して亡父孝行は「形式ばった会合でなく、なによりも仲間で集まることが大切です。

口先だけのコミュニケーションや論争で無く、人間的な接触、ヒューマンタッチ！により雰囲気づくりから始めるべきだ…と述べている」また、これから日本にとり、コミュニケーションを充分とったコミュニティの形成が、いかに大都市では必要であるかを熱く語っている。そして、「いまや指導員は（スキーだけに限っても）ただ技術の切り売りをするのではなく、全人的な接触が大切…」と述べている。そして、もしも、これを忘れるか指導員会は「われわれの世代だけで終わりの在郷軍人の想い出を語る会のようなものになり消滅することは明か…」と警鐘をならしている。

ゴンさんの活動は、常にスキーヤー皆の立場に立ち、上から目線では無くスキー界を盛り立てるには、スポーツクラブの役割がいかに重要であるかを最後まで主張しつづけておられたと思う。今、先輩の巨人達が次々と亡くなつてゆく中、私達は原点にもどり、スポーツは、むすびつけ命を与えるものである、ということを強く意識して、日々努力してゆきたいと思うこのごろである。歌を忘れたカナリアになつてはならないのだ！ 孝純君しつかりしろとのゴンさんの励ましの声が聞こえて来るようだ。 合掌

なかなか、悲しくて筆が進みませんでした。
今の日本スキー界の暗雲が晴れるのを一番
願っているのはゴンさんで、その後ろには、
純真な白銀の世界を愛する人々が沢山いる
と見てます。

2015年8月9日 長崎原爆投下の日に



IVSI (国際スノースポーツ連盟)
副会長 福岡孝純

スキー界活性化の取り組み

千葉県スキー指導員会

会長 奥住 公夫

1. 「シニアスキーの集い・ちば」の立ち上げ

スキー（スキー・スノーボード）人口の大幅減少と相俟ってスキー界の低迷が問われて久しい。もともと人口の自然減少とともにレジャーが多様化し、スキーもその一つの選択に過ぎず、特に若者たちのスキー離れが目立つ。それでも信頼できるデータによると、ピーク時1,800万人（1998年）のスキー人口が2013年は770万人（290万人+480万人）と42%減ではあるが、この2年間は、横ばい推移で急激な減少から回復基調との見方もある。

千葉県スキー指導員会では、この機に乗じて、さらなるスキー人口の拡大とスキー界の活性化を図るべく「シニアスキーの集い・ちば」を立ち上げ、いざれは若者たちへも呼びかけて行くという計画を練っているところである。各地区の指導者が中心になり、市町の広報にも載せてスキー愛好者を募り、スキー場へ連れ出し、指導者は一緒に滑るという構想である。

そして、大事なことは、ここへ集った指導者はクラブへ帰って、スキー教室を企画したり、また、個人的に友人や地域の人、家族と連れ立ってスキー場へ出向くことを期している。

これこそは指導者の組織である指導員会に課せられた事業であり、また、自ら習得したスキー技術とスノースポーツの素晴らしさを後世に伝承していくという使命を果たす機会になる。

なお、この事業を立ち上げるまでには4月、6月の2回、9人の有識者からなるスキー活性化会議を開催し、具体策として標記の事業を指導員会の事業として立ち上げるよう提言された経緯がある。指導員会では今シーズン中に開催できるよう実施要項の作成に取り組んでいる。

2. 指導者派遣事業

これまで、スキー指導者に指導の機会を提供するために、指導員会が窓口になり各スキー場と連携し、

スキー教室に多くの指導者を派遣してきたが、今年もすでに派遣要請がきており、さらに拡大することを目標んでいる。そのために指導員会の派遣バンクに登録してもらい、なるべく希望に応じた情報を流していくことにしている。

スキー教室の対象は、小・中・高校生なので、間違いないく近い将来のスキー人口拡大に繋がる。まさに指導者の出番であり、生徒たちとともに感動を味わう絶好の機会になるであろうと思う。

3. 指導者の連帯組織が「指導員会」

本県の指導者登録者は884名であるが、近年、指導者資格を返上する指導者が微増している。

その理由は、

- ①指導する機会がない。
- ②スキーに出かける機会がない。
- ③資格を持っていても何の価値もない、など。

確かに、例えば、①については、本県の公認のスキー教室は21件（27年度）で、講師は延べ112名であることからも、884名にはとても行き渡らない。

しかし、そうした機会はなくとも、指導者は前述の通り、個人的に仲間と滑ることで指導者の役割を果たすこともできる。また、技術指導と併せて、周りにそびえる山々や樹木、小動物の棲息、その地域の気象など冬の自然界を解説するインターパリーターの役割もある。現地へ行かなくとも、スキー愛好者にウインターランドスポーツとしての魅力を語り継ぐ「語り部」でもいいと思う。

私たち指導者は幸いにも厳しい理論・実技の検定に合格し、誰もが憧れる「指導者」になった。

全国にその仲間が42,476名いる。お互いに連帯感を深め、その矜持を確保していくことが、いつの日か何らかの形で、スキー界の活性化に貢献することになると確信している。指導者の連帯組織が「指導員会」であることを訴えていく所存である。



スキー界活性化の取り組み

神奈川県スキー指導員会

副会長 水島 三千夫

インドアスキー場の特性を活かした初心者指導とスキー普及活動

インドアスキー場を活用したジュニアスキー教室は、今年で10年になる。

この間に、雪なし県の子供たち4歳から70歳台高齢者まで延べ6000人がスキーを体験し本物の雪を滑りたいと、今も、広がりを見せてている。

今回は神奈川県スキー指導員会の取り組みの一端を紹介します。

インドアスキー場を活用するようになったきっかけは、当会では雪無し県のこども達に楽しいスキーを体験してもらいたい、スキーを普及させたいと策を練っていたところ、スノーボーダー主体のスノーヴァ新横浜からスキーヤーにも利用を広めたいとの相談があり、両者の思惑が一致した。

夏休みに「真夏に-3℃真冬の体験を！」のコピーで区の広報にてPR。

真夏に雪とふれあう

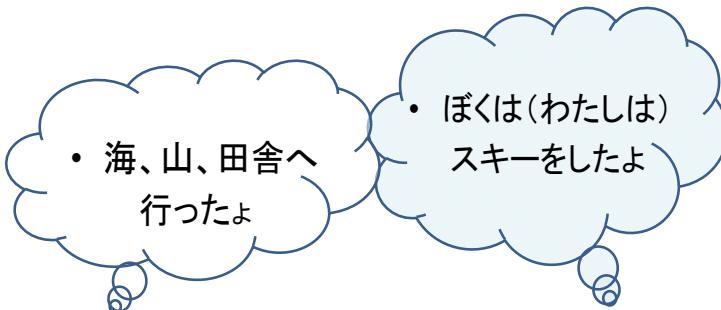
ジュニアスキー体験教室として

2005年(H17)8月25日から3日間でスタート

初日は僅か8名

全3回で 実参加者24名 延べ28名

ところが新学期になって学校で話題に



口コミで拡がった

実際に

2005/8-2015/5 約10年間で延べ 6117人 (実2832人)

年平均 延べ611 (実283) 月平均 延べ50 (実23) 年齢幅4歳から70歳台

今では、毎月1回開催しており、参加者は常時20~30名になり最近は、付添の大人も参加するようになった。



インドアの特性を活かした講習の一部を紹介します。

1. スキー靴での滑走

インドアのゲレンデは、床下に冷却装置がありつまでも歩けるため、一般のスキー場では出来ないスキーを付けないで滑走することができる。

- ・体力の弱いキッズやジュニア低学年には重いスキーが無いので有効。
- ・前後に頼らないポジショニングや足裏での滑走感覚など得るところも多い。

この体験のあとスキーを着けると滑走に容易に導入できた。



斜面を登る、下る



斜面に立つ



靴で滑走

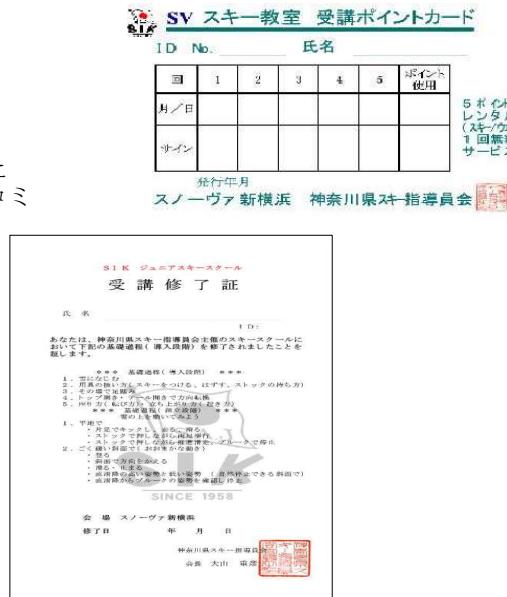
2. 天候に左右されないので安心して練習ができる
安全に！ 楽しく！ ちょっと上達
指導者2名がペアで指導
初心者に安心感を 持たせる
(止まれない！の恐怖から解放！)

※保護者もギャラリースペースから見ていて
楽しんでいる子どもの様子にひと安心



3. 仲間を増やす様々な工夫
1. ポイントカード
5回利用すると、レンタル1回 無料サービス

2. 修了証の授与
次への励みになるよう、当日のレベルが7段階で評価された
修了証を担当講師から手渡す。友達の間で話題に・・・口コミ



S I K としては、屋内スキー場という限られたスペースの中でジュニア（キッズや高齢者）を安全に楽しく効率よく指導するノウハウを模索しました。
直滑降・階段歩行・プルーキなどをマスターして、ゲレンデに飛び出してもそこそこ滑れるところまで上達させることができます。

雪とふれあいツアー インドア育ちにほんものの雪を！

2007年から菅平スキー場（2泊3日）4回や、

2013年からは富士見パノラマ（日帰りツアー1月と3月）毎年2回実施している。

毎回、キャンセル待ちが出るほど好評で参加者はスキーの醍醐味を満喫している。



はやくもリフトOK



まとめ

スキー人口が激減したと言われている中で、くちコミを主体にこれほどまでスキー人口の発掘が出来たこと、その基盤にあるのは講師の皆さん的情熱と献身的なサービス精神でした。

今後について

スキー指導の現場でさまざまな工夫をされている先生方のノウハウを発表しあい共有することで、より充実したスキースポーツを提供しスキー界の活性化に寄与していきたいと思います。

S. A. J. 情報 2015/2016 教育本部行事一覧表

平成27年4月27日現在の予定表（案）ですので、変更になる場合があります。

No	行事・会議・事業 名称《スキ-関係》	都道府県	会場	会 期		
1	インタースキーウェンス大会	北海道	ウシオスキー	2015年9月5日	(土)	~ 2015年9月12日 (土)
2	スキ-専門会議	東京都	シップスホル	2015年10月25日	(日)	
3	公認スキ-校代表者会議	東京都	シップスホル	2015年10月26日	(月)	
4	第1回ナショナルデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキ-場	2015年11月18日	(水)	~ 2015年11月20日 (金)
5	第1回SAJデモンストレーター合宿	長野県	熊の湯スキ-場	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
6	スキ-中央研修会	長野県	熊の湯スキ-場	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
7	スキ-技術員研修会(北海道)	北海道	札幌国際スキ-場	2015年11月27日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
8	スキ-技術員研修会(東北)	岩手県	安比高原スキ-場	2015年12月4日	(金)	~ 2015年12月6日 (日)
9	スキ-技術員研修会(北関東)	群馬県	鹿沢スノーエリア	2015年11月27日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
10	スキ-技術員研修会(南関東)	長野県	熊の湯スキ-場	2015年11月28日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
11	スキ-技術員研修会(甲信越)	長野県	焼額山スキ-場	2015年12月7日	(月)	~ 2015年12月9日 (水)
12	スキ-技術員研修会(東海・北陸)	岐阜県	ウイングヒルズ白鳥リゾート	2015年11月27日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
13	スキ-技術員研修会(西日本)	兵庫県	奥神鍋スキ-場	2015年12月5日	(土)	~ 2015年12月6日 (日)
14	スキ-学校主任教師研修会(第1会場)	北海道	キロロスキー	2015年12月5日	(土)	~ 2015年12月6日 (日)
15	スキ-学校主任教師研修会(第2会場)	岩手県	安比高原スキ-場	2015年12月4日	(金)	~ 2015年12月6日 (日)
16	スキ-学校主任教師研修会(第3会場)	群馬県	鹿沢スノーエリア	2015年11月27日	(金)	~ 2015年12月29日 (日)
17	スキ-学校主任教師研修会(第4会場)	長野県	焼額山スキ-場	2015年12月7日	(月)	~ 2015年12月9日 (水)
18	スキ-学校主任教師研修会(第5会場)	岐阜県	ほおのき平スキ-場	2015年12月17日	(木)	~ 2015年12月19日 (土)
19	スキ-学校主任教師研修会(第6会場)	兵庫県	奥神鍋スキ-場	2015年12月5日	(金)	~ 2015年12月7日 (日)
20	スキ-大学(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキ-場	2016年1月8日	(金)	~ 2016年1月10日 (月)
21	スキ-大学(第2会場)	長野県	白馬五竜スキ-場	2016年1月15日	(金)	~ 2016年1月18日 (月)
22	スキ-大学(第3会場)	福島県	猪苗代スキ-場	2016年2月12日	(金)	~ 2016年2月15日 (月)
23	スキ-指導員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキ-場			
24	スキ-指導員検定会(第2会場)	青森県	大鷲スキ-場			
25	スキ-指導員検定会(第3会場)	栃木県	ハタケヤマ塩原	2016年2月26日	(金)	~ 2016年2月28日 (日)
26	スキ-指導員検定会(第4会場)	岐阜県	ほおのき平スキ-場			
27	スキ-指導員検定会(第5会場)	兵庫県	奥神鍋スキ-場			
28	スキ-A級検定員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキ-場			
29	スキ-A級検定員検定会(第2会場)	青森県	大鷲スキ-場	2016年2月27日	(土)	~ 2016年2月28日 (日)
30	スキ-A級検定員検定会(第3会場)	栃木県	ハタケヤマ塩原			
31	スキ-A級検定員検定会(第4会場)	岐阜県	ほおのき平スキ-場			
32	スキ-A級検定員検定会(第5会場)	兵庫県	奥神鍋スキ-場			
33	第53回全日本スキ-技術選手権大会兼 デモンストレーション選考会	長野県	白馬八方尾根スキ-場	2016年3月8日	(火)	~ 2016年3月13日 (日)
34	第2回ナショナルデモンストレーター合宿	長野県	野沢温泉スキ-場	2016年4月4日	(金)	~ 2016年4月7日 (日)
35	第2回SAJデモンストレーター合宿	長野県	野沢温泉スキ-場	2016年4月4日	(金)	~ 2016年4月7日 (日)
36	バックカントリー講習会	新潟県	シルマツ打スキー場	2016年3月26日	(土)	~ 2016年3月27日 (日)
37	教育本部会議	東京都				
No	行事・会議・事業 名称《安全対策関係》	都道府県	会場	会 期		
38	全国安全対策委員長会議	東京都	岸記念体育館(又は都内)	2015年11月7日	(土)	
39	スキ-バトロール中央研修会	長野県	熊の湯スキ-場	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
40	スキ-バトロール技術員研修会(北海道)	北海道	札幌国際スキ-場	2015年11月27日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
41	スキ-バトロール技術員研修会(東北)	岩手県	安比高原スキ-場	2015年12月4日	(金)	~ 2015年12月6日 (日)
42	スキ-バトロール技術員研修会 (北関東・南関東・甲信越・東海・北陸・学連)	群馬県	鹿沢スノーエリア	2015年11月27日	(金)	~ 2015年12月29日 (日)
43	スキ-バトロール技術員研修会(西日本)	兵庫県	奥神鍋スキ-場	2015年12月5日	(土)	~ 2015年12月6日 (日)
44	スキ-バトロール検定会(第1会場)	北海道	ルスツリゾート	2016年3月11日	(金)	~ 2016年3月13日 (日)
45	スキ-バトロール検定会(第2会場)	兵庫県	八子高原スキ-場			
46	スキ-バトロール研修会(第1会場)	青森県	八甲田スキ-場	2016年4月9日	(土)	~ 2016年4月10日 (日)
47	スキ-バトロール研修会(第2会場)	長野県	一ノ瀬ゲイザンドスキ-場	2016年3月26日	(土)	~ 2016年3月27日 (日)
48	第31回スキ-バトロール技術競技大会	福島県	南郷スキ-場	2016年3月26日	(土)	~ 2016年3月27日 (日)
No	行事・会議・事業 名称《スノーボード関係》	都道府県	会場	会 期		
49	第1回スノーボードデモンストレーター合宿	長野県	醸製中	2015年11月19日	(木)	~ 2015年11月20日 (金)
50	スノーボード中央研修会	長野県	熊の湯スキ-場(雪上高天原)	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
51	スノーボード技術員研修会(北海道)	北海道	札幌国際スキ-場	2015年11月27日	(金)	~ 2015年11月29日 (日)
52	スノーボード技術員研修会(東北)	岩手県	安比高原スキ-場	2015年12月4日	(金)	~ 2015年12月6日 (日)
53	スノーボード技術員研修会(南関東)	長野県	熊の湯スキ-場(雪上高天原)	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
54	スノーボード技術員研修会(北関東・甲信越・東海・北陸・西日本)	長野県	熊の湯スキ-場(雪上高天原)	2015年11月20日	(金)	~ 2015年11月22日 (日)
55	スノーボード指導員検定会(第1会場)	北海道	朝里川温泉スキ-場			
56	スノーボード指導員検定会(第2会場)	栃木県	ハタケヤマ塩原	2016年2月26日	(金)	~ 2016年2月28日 (日)
57	スノーボード指導員検定会(第3会場)	兵庫県	奥神鍋スキ-場			
58	第13回全日本スノーボード技術選手権大会兼SBデモ選考会	宮城県	宮城蔵王えぼしスキ-場	2016年3月上旬		
59	第2回スノーボードデモンストレーター合宿		醸製中	2016年3月25日	(金)	~ 2016年3月27日 (日)
No	事業 名称《クロスカントリースキ-関係》	都道府県	会場	会 期		
60	クロスカントリー指導者・検定員検定会及び研修会(第1会場)	北海道	伊達市大溝加スカトリ-コス	2016年3月19日	(土)	~ 2016年3月20日 (日)
61	クロスカントリー指導者・検定員検定会及び研修会(第2会場)	長野県	野沢温泉スキ-場			

【北海道】北海道スキー指導者協会

会 長 藤島 勝雄

北海道スキー指導者協会の活動報告

本協会開催の主な事業・行事を紹介します。これらは、本協会会員はもとより一般指導員や一般スキーヤーへも発信し、参加も可能です。特に昨年から復活した「ベテラン研修会」は、春のニセコでトップデモと一緒に滑れるS A J公認の「指導者研修会」ですので、他プロックの指導員の方々も参加しては如何でしょうか。

1、機関誌「シュプール」発行

昭和27年、「北海道一般スキー指導員会」として創立し最初に取り組んだのは“機関誌の発刊”でした。

昨年9月発行の第42号は“スキー指導者制度制定75周年”を記念して開催した「集い・稚内大会」、復活した「ベテラン研修会」、「小樽スキー連盟創立100周年記念祝賀会」、会員の「技術研究」、準指検定合格者の「随想」、加盟団体の「地区紹介」など盛り沢山の記事を160ページにわたって掲載しています。

北海道のスキー情報満載の「シュプール」を一度手にとってご覧になっては如何でしょうか。このS I J会報「インストラクター」最終ページに掲載の「北海道」にご連絡ください。

2、北海道スキー指導者協会の集い

指導員会が設立され次に取り組んだ行事は、“会員が一堂に会する場”としての「集い」でした。

現在は到底会員が一堂に会することが出来ず、全道各地の加盟団体の持ち回りで開催していますが、今回は去る7月4・5日、「集い・北空知大会」として滝川にて開催されました。主管の上砂川スキー連盟の暖かいおもてなしの中、講演は地元企業として全国的な“ソメスサドル社”社長の、馬具作りで培った技術と精神でバッグ・ベルトなどの美しい革製品を生み出した話は、誠に興味深いものがありました。併せて行われた「親睦ゴルフ大会」も大いに盛り上がりました。

3、ホームページ

次に、本協会会員だけでなく一般スキーヤーにもスキー情報を発信しようとしてHPを開設しました。

本協会の事業・行事は勿論のこと北海道スキー連盟主催の「技術選北海道予選会」「マスターズ技術選」等々や加盟団体開催の行事を掲載。特徴的なのは、HP担当者が稚内在住で「ロシア・サハリンスキー場」情報が度々掲載されることです。

興味のある方は、<http://saih.jp/>をご覧ください

4、ベテラン研修会

創立以来の“親睦”の枠に捉われずに幅広い活動を展開していくこととし、北海道スキー連盟教育本部と協力し「ベテラン研修会」を復活しての第2回目は、4月3・4・5日2泊3日の日程でニセコグランヒラフスキー場にて開催されました。

「研修会テーマ」は勿論のこと、「最新の技術」を目の当たりにしたく、講師にトップデモとして活躍の池田麻里さん、大川奈々さんにお願いしました。

両デモの技術選で培った力強く且つ華麗な滑りと熱心で的確な指導は、受講者一同を感動させ満足させるに充分がありました。

こじんまり（定員40名）としたアットホームな雰囲気で、「親睦を図る」目的も果たされたものと思います。女性トップデモと一緒に滑りながら、ニセコの春スキーを楽しんでみませんか。



第28回 北海道スキー指導者協会の集い 釧路大会

【岩手県】岩手県スキー指導員会
「インストラクターの信条」

事務局長 石川 明

私たち岩手では、2016年度開催の「いわて国体完全実施」を目前に控え、各競技団体はもとより行政・民間等による諸準備と盛り上がりが、ますます熱を帯びてまいりました。

当スキー・スノーボード界も同様、組織をあげて課題となる選手の育成強化に力を入れているところだと思いますし、また期待するところもあります。

当指導員会としては、国体に直接関わるがうすくても国体開催の盛り上がりに沿って、事業に取り組むことができれば、県民一体となった活動が展開できると思います。

特に各所属団体における事業において、我々スキー・スノーボードインストラクターが持っている技術を活かした強い信条をもって普段の心がけ以上に力をそそげ

きだらうと考えます。

今年度、明確な信条を持つ優秀な友人指導員が年次登録更新時の手違いにより更新されず、その資格を失いかけていると聞いて、県連に相談したことがあります。しかしながら全日本教育本部からは一切受けできないとの回答であるとのこと。

インストラクターとしての信条は、個人のみならず組織にも存在すると思っていたが、何か大きな間違いがそこにはないか心配である。

さて、岩手県スキー指導員会では、歯止めのかからない会員の減少に悩みながら、東日本大震災の復興に資するための所属団体への補助事業を継続しつつ、地域の活性化や会員相互の連携と情報交換などを重点に展開しております。

事業の実施状況(27年度予算)		
事業名	概要等	経費(千円)
指導員会報の発行	800部印刷、会員配布	263
全日本技選・選手団補助	選手11名、監督、コーチ等	220
県連スキー会員購入配布	会員750人分	1,500
指導員研修・養成事業	県連共催	50
会員親睦事業	ゴルフコンペ、SAJ研修会開催時飲料類提供	58
会議関係	各種会議、出張経費	171
被災地支援事業	7団体対象	100
事務費等諸雑費	事務費、通信費、慶弔費	37
予備費	予備費	104
合計		2,503

【山形県】山形県スキー指導員会

山形県スキー連盟 常任理事 鈴木 勘重

平成28年度 教育本部行事予定

	行事名	開催年月日	開催場所
SAY スキー行事	指導者養成講習会・理論	平成27年10月25日(日)	山形市スポーツ会館
	指導員・準指導員研修会・クリニック	平成27年12月11日(金)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
	指導者養成講習会・実技	平成27年12月18日(金)～平成27年12月20日(日)	蔵王温泉スキー場
	指導員受検者講習会	平成28年2月13日(土)～平成28年2月14日(日)	蔵王温泉スキー場
	準指導員受験者講習会	平成28年2月20日(土)～平成28年2月21日(日)	Asahi自然観スノーパーク
	準指導員検定会	平成28年3月5日(土)～平成28年3月6日(日)	Asahi自然観スノーパーク
	B・C級公認検定員検定会	平成28年3月20日(日)	蔵王温泉スキー場
	県スキー技術選手権	平成28年1月30日(土)～平成28年1月31日(日)	米沢スキー場
	スキー強化合宿	未定	
SAY 安対行事	県ニアスキー技術選手権	平成28年2月28日(日)	米沢スキー場
	スキー傷害急救法講習会	平成27年10月24日(土)	山形市スポーツ会館
	日本赤十字社救急員資格継続研修会	中止	
	日赤救急法講習会	中止	
	公認パトロール研修会	平成27年12月11日(金)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
	公認パトロール養成講習会	平成27年12月12日(土)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
SAY スノーボード行事	パトロール隊長会議	平成27年12月12日(土)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
	スノーボード指導員・準指導員研修会	平成27年12月12日(土)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
	スノーボード指導員・準指導員養成講習	平成27年12月12日(土)～平成27年12月13日(日)	蔵王温泉スキー場
	全日本スノーボード技術選手権予選会	平成28年2月7日(日)	えぼしスキー場
	SB強化合宿	未定	えぼしスキー場
	スノーボード準指導員検定会	平成28年2月27日(土)～平成28年2月28日(日)	えぼしスキー場
	スノーボードジュニアキャンプ	未定	えぼしスキー場

【宮城県】宮城県スキー指導員会

会 長 半沢 進

宮城県スキー指導員会では、2年ぶりに、平成27年2月2日(月)から10日(火)までの7泊9日間の日程でフランス・トロアバレーに海外スキー研修を行いました。期間中は、天候に恵まれ雄大なスキー場を思う存分滑り、現地のスキーヤーとの交流や本場の料理を舌鼓みました。

本会は宮城県スキー連盟と連携しながら指導員の育成と資質の向上並びに親睦の輪を図っております。

今年度は、役員改選の時期となり一部の役員の交代がありましたのでお知らせいたします。

下記に平成28年度事業計画と新役員一覧表をお知らせ致します。

平成28年度事業計画

No	年 月 日	事 業 名	場 所	備 考
1	H27. 8.22(土)	総 会	ホテル白萩	第1回 役員会実施
2		講 演 会	宮城県スキー連盟主催の指導員研修会に共催	
3	H27. 8.22(土)	交 流 会	ホテル白萩	
4	H28.	海外スキー研修	実施しない	
5	H28.()	スキー・ポート・準指 合 格 者 入 会 受 付		スキー: 名 ポート: 名
6	H28.()	日 指 理 事 会	東 京	会長参加予定
7	H28.()	第2回 役員会	野 村 コミュニティセンター	
8	H28.()	日 指 総 会	東 京 未 定	会長参加予定
9	H28.()	県連ゴルフ大会協賛		仙南地区担当

各種支援・協賛

- 1 東北ブロック研修会(ブロック技術員等)参加者への支援(100,000円)
- 2 仙北・仙塩・仙南ブロックへの講習会支援(@60,000円)
- 3 正指導員受験者への支援 (@5,000円)
- 4 日指ゴルフ大会支援…平成27年10月17・18日場所:那須カトリ 参加者: 未定
- 5 東北マスターズ大会支援(基礎)(本県開催時)
- 6 近県指導員会との交流支援

平成28(2016)・29年(2017)度 宮城県スキー指導員会役員一覧 H27.8.22

※ 任期 2015.8.1～2017.7.31 事務局:ダイナミックスキークラブ

	役 職	氏 名	所 属 ク ラ ブ	再 新	ブ ロ ッ ク
1	顧 問	青 沼 幸 男	古川スキー協会	再	仙 北
2	顧 問	山 口 昭 一	仙台市スキー協会	新	仙 塩
3	会 長	半 沢 進	タ イ ケ ミ ク ス キ ク ラ ブ	再	仙 南
4	副 会 長	保 原 政 美	石 廿 ス キ - 協 会	再	仙 北
5	〃	高 田 潤 一	仙台市スキー協会	再	仙 塩
6	特 別 幹 事	千 葉 栄 一 郎	宮城県スキー連盟 教 育 本 部 長	再	仙 北
7	幹 事 長	武 田 善 晴	仙台市スキー協会	新	仙 塩
8	幹 事	山 内 光 一	仙台市スキー協会	再	仙 塩
9	〃	高 山 弘	サソコースキークラブ	再	仙 塩
10	〃	佐々木 英 信	仙台スキー研究会	再	仙 塩
11	〃	大 宮 敏 夫	仙台アルペンクラブ	再	仙 塩
12	〃	高 橋 浩	仙台市スキー協会	新	仙 塩
13	〃	佐 藤 久	仙南スキークラブ	再	仙 南
14	〃	渡 辺 正 俊	タ イ ケ ミ ク ス キ ク ラ ブ	新	仙 南
15	〃	若 森 誠 二	川崎スキークラブ	再	仙 南
16	〃	斑 目 和 彦	蔵王スキー協会	新	仙 南
17	〃	新 山 秀 夫	七ヶ宿スキークラブ	再	仙 南
18	〃	福 田 由 一	コ ル テ ソ ス キ ク ラ ブ	新	仙 北
19	〃	千 葉 秀 幸	鳴子温泉スキー協会	再	仙 北
20	〃	高 橋 洋	色麻スキークラブ	再	仙 北
21	〃	中 鉢 悟	古川スキー協会	再	仙 北
22	〃	遠 藤 金 生	岩出山スキークラブ	再	仙 北
23	監 事	北 田 煉	ミットスキークラブ	再	仙 塩
24	〃	高 橋 秀 雄	宮城蔵王スキークラブ	再	仙 南
25	〃	片 倉 敏 明	迫スキークラブ	再	仙 北

【宮城県】宮城県スキー指導員会 海外スキー研修会に参加して

この度の海外研修（フランス・トロアバレー）は、平成27年2月2日（月）～10日（火）までの7泊9日間の日程で実施しました。

出発日の2日午前6時、仙台空港に集合。今回の参加者は半沢指導員会々長をはじめ、総勢8名である。皆さん、元気な顔で挨拶を交わす。半沢会長、高田副会長の奥様方に見送られ、いよいよ一路フランス・トロアバーレースキー場を目指し、7時45分、仙台空港を離陸。成田でスイス機に乗り換え、チューリッヒ、ジュネーブ空港を経てバスにてスキー場のホテルに向かう。丸一日がかりの長行程である。

機上時間15時間余り。4時間もすると腰が痛くなってくる。酒を飲んで紛らわす。チューリッヒ空港で、今回のツアーを企画してくれたスポーツユニティの村里元紀社長と合流する。日本とは時差が8時間。夜中に無事到着し、軽食を取り、翌日からのスキーに備え眠りにつく。

今回の海外研修先となったフランスのトロアバーレースキー場は、フランス南東部、アルプス山脈西部に広がる世界最大級のスキーエリア。トロアバレーとは、フランス語で三つの谷という意味でクールシュヴェル・メリベル・ヴァルトランス等のスキー場で構成されて、整備されたコースの滑走距離600km、リフト、ゴンドラが250基。標高1、200mから3、232mまで縦横無尽に伸びています。トロアバレーは5個のスキー場を持つ街を全てゴンドラ、リフトで繋がっています。

私達が泊まった所はメリベルにあるホテルでしたが街のホテルは三角屋根に木と石を用いたシャレー（山小屋）形式が義務付けられ、自然と調和が重視されています。また、クールシュヴェルは、一番東側の谷の街にあり最高級なリゾート。自家用飛行機専用の飛行場がある程度です。

2日目。天候晴れ。皆さん、体調良し。「さあ、滑るぞ！」と意気込む。リフト券を購入。75歳以上は、無料。コースを先導してくれる村里氏は語学も堪能、スキー技術も抜群、グッドな滑りをする好青年である。

滑走1日目はメリベルを主に滑るが、最初から7kmのハードなロングコース。山頂からの眺めは、素晴らしい！早速、カメラを握る。コース外にも至る所シュプールの跡が。なんと山全体がゲレンデだ。驚きである。メリベルには1992年アルベールビル五輪、そして今年3月、ワールドカップ最終戦が行われた競技専用バーン

副会長 保原 政美
(石巻スキー協会)

があり、滑ってレーサーになった気分、良かった！滑りは・・・？

夕食時は毎晩、本場フランスワイン・地場ビールを舌鼓しながら会話も弾む。これも楽しい一時である。

3日目からは、同ホテルに宿泊しているフランス人のクロードさんと意気投合し、コースや昼食時のレストラン等を案内してもらう。クロードさんは2か月も滞在しているとのこと。昼食時には一滑りした後の冷えた身体にホットワインの味は格別である。西洋食も2～3日すると飽きてくる。メニューに日本風のエビ入り焼きそばがあり、オーダーすると、なんと皿に盛られた焼きそばに割箸が刺し立てで出てくる。風土・風習はちがえど、これも良き体験とする。

また、この焼きそばの値段の高いのにも、またビックリである。（日本の4～5倍する。）

天候も毎日晴れ。アルプスの山々を眺めながら、トロアバレーの斜面を滑る各参加メンバーは醍醐味と興奮に歓喜が上がる。

最終5日目は快晴に見舞われたこともあり、トロアバレーの奥地のヴァルトランス山頂へ。3、232mの眼下にヴァルトランスの街が、そして遠くシャモニーの山々モンブランが眺望でき、最高の見晴しでした。

帰りのコースは、個々の思い出にビデオ、カメラ撮りを。5日間も滑りまくったこともあり、階段も上がりれない程、経験したことのない筋肉痛だ。なごりは尽きないけれど早めにホテルに戻る。トロアバレー最後の晩餐会は皆さんで「シーハイル」を合唱し、いろいろな思い出を残しトロアバレーを後にする。

旅の終わりはアヌシーの街へと車は進む。アヌシーはヨーロッパで一番の透明度を誇るアヌシー湖。運河が走る街並みは「フランスのベニス」と呼ばれるほどの美しさ。中世の面影を残す旧市街地があり、高台にあるアヌシー城を見学。街を散策するも、日曜日で休みの店が多い。夕食には個々、思い出等話しながら旅行を締めくくる。

10日。全員、無事帰国。仙台空港にて、解散しました。私はドロミテ、アンドラ公国に続いて3回目の海外研修。参加するたびに多くの人と出会い、思い出ができる。帰国後、えぼしスキーフィールドでの1泊2日の反省会。ドロミテ会から続く親善ゴルフを今年も楽しみました。また次回の企画があれば体力の続く限り参加したいと思います。ありがとうございました。



フランス・トロアバレー



クールシュヴェル (Courchevel)

【栃木県】栃木県スキー指導員会**栃木県スキー連盟教育本部 2016年度事業**

栃木県スキー連盟 教育本部長 高松 守一

いよいよ新しい2016シーズンがスタートしますが、この誌面をお借りし本県教育本部の事業内容について述べさせて頂きます。

全国的な課題であるスキー人口が減少している中で、教育本部の大きな役割は、県内スノースポーツの普及発展に寄与することであり「継続は力なり」精神のもと、このための諸施策として約50項目の事業を展開することとしております。

◆指導普及関係

初めに、指導普及関係で最も重要な事業として、我々の仲間である指導者の育成は、指導者研修会及び検定委員クリニックを年度当初の12月及び年度末の3月と2回開催し、指導者の資質の向上を図る計画です。また、準指導員・検定員検定は、養成講座を経て3月に実施する計画です。その他プライズテストは年間5回開催する計画です。

◆技術強化関係

技術強化関係は、技術選手権大会を年度3回の開催を計画しており、オープンマスターズ大会は県外からの参加者を得て開催し、3月に行うオープンスプリング大会は小学4年生以上の参加を認め、ジュニア育成を担った大会としております。その他、指定選手強化事業、一般スキーヤーのトレーニング事業を各々年4回程実施し、技術向上を図る計画です。

◆安全対策事業

安全対策事業は、パトロールの育成を継続的に実施することと、県内スキー場関係者協議会の組織的な活動による事故防止策を進めていく計画です。

以上、大まかに述べさせていただきましたが、最後に、栃木県スキー連盟では、今年、スキー指導員検定会の第3会場として栃木県ハンターマウンテンスキー場で開催する計画をしておりますので全国の指導員受検者のお越しをお待ちしております。

栃木県スキー連盟教育本部 2016年度事業

◆指導普及関係		7 指定選手強化事業	4回
1 指導者研修会及び検定委員クリニック	H27/12、H28/3	8 一般スキーヤーのトレーニング事業	4回
2 準指導員・検定員検定	H28/3	◆安全対策事業	
3 プライズテスト	5回開催	9 パトロールの育成	
◆技術強化関係		10 県内スキー場関係者協議会	
4 技術選手権大会	3回開催	◆SAJ関係	
5 オープンマスターズ大会	H28/3	11 スキー指導員検定会(第3会場) 会場:ハンターマウンテンスキー場	H28/2/26~28

【千葉県】千葉県スキー指導員会

会長 奥住 公夫

当会は昭和48年12月15日、千葉県スキー連盟指導員会として発足し、今年は、43年目にあたる。会員は全指導者になるが、指導員会費納入者は、昨年度535名(59.4%)である。年会費は1,000円であるが財政はかなり逼迫している。当面の課題は「会費納入者の拡大」である。

その対策として、まずは指導員会の存在感を存分にアピールすることであるとの考え方から、事業の見直しをして出直すこととした。

(1) 講演会

総会後の講演会は一つの呼び物である。今年度は「模擬検定会」と称して、県連教育部長に講師をお願いし、昨シーズンの本県主管準指導員検定会のビデオを放映し、参加者に検定してもらう。部長の採点と併せて解説も加え、参加者の検定の目を再確認するという狙いの講演会である。勿論、模擬検定であるが実践的であることから参加者の増員を期待している。

(2) 新事業「シニアスキーの集い・ちば」

スキー界の活性化と指導者の連携を再構築するために、まだまだ元気なシニアに呼びかけて、地区ごとに地域の住民を誘い現地に集合する。30~40名を想定している。そして、大事なことは、この集いに参加した指導者は、クラブへ戻ってスキー教室を立ち上げるとか、また、個人的に仲間を誘いスキー場へ出向くことにより、スキー界の裾野の拡大、活性化に繋げてもらうことである。今シーズン中に立ち上げる予定である。

(3) 指導者派遣事業の拡大

これまで、スキー指導者に指導の機会を提供するために各スキー場と連携して、スキー教室の講師として指導者を派遣しているが、今シーズンもすでに複数のスキー場から派遣要請がきている。そのために、会員には指導者バンクに登録してもらい、情報を提供していくことにしていく。

スキー教室の対象は小・中・高校生なので、間違いなく将来にリピーターとして戻ってくるという有力な「資源」であることからも指導者の指導力が試されることにもなる。そして、生徒たちの感動を共有することで指導者としての矜持を実感するだろう。

(4) 指導員の連帯組織が指導員会！

スキー指導者なのに「指導する機会がない」指導者の方が多いのは事実である。公認スキー教室等がかなり少ないとからその機会に関わる指導者も限られてくる。しかし、指導者はスキーの普及と振興に貢献するという使命があるので、いろいろな形でスキーに関わっていくことが大事ではないか。仲間を誘ってスキーに行くことでも充分その役割を果たせるし、また、現地に行かなくとも、「語り部」的にスキーの素晴らしさを後世に伝承していく取り組みもあっていいと思う。指導者としての矜持を大切にしながら、指導員の使命を果たしてもらう。その連帯組織が指導員会である。

(5) その他の事業

- ①第43回総会・講演会27.11.7 ホテルオークラ千葉
- ②第11回ステップアップ講習会28.1.23~24小海スキー場
- ③第15回千葉県スキー愛好者ゴルフ大会28.5. 成田市
- ④会報「わかしお」47号発行27.9



ゴルフ大会開会式



小海リエックスにて 左端 筆者

【神奈川県】 神奈川県スキー指導員会

会 長 中森 博文

新任ご挨拶と来シーズンの行事予定

1. 新任ご挨拶

神奈川県スキー指導員会は、去年、大山重彦会長の下、新生30周年記念式典が行われた節目の年でした。そして今年新たな出発の年。大山会長から、私、中森博文が引き継ぐことになりました。

神奈川県スキー指導員会の過去の会長の顔触れを拝見しますと、黒川秋三氏、松浦益司郎氏、三塚正二郎氏、石田久夫氏等日本のスキー界で大活躍された大先輩がおられました。現在も、日本スキー指導者協会で活躍の大澤佑吉氏、水島秀夫氏、榎本勝雄氏と言った素晴らしい人材の中で私が会長になるべきかと悩んでいましたが、今年の神奈川県スキー指導員会の新役員のメンバーが私を決心させてくれました。藤木昇氏、水島三千夫氏、川岸保貴氏の3名の副会長、心強い大雁丸幹事長を中心とした新役員の顔触れが私の心を強く後押ししてくれました。

私は、平成3年から(数年の空白はあります)神奈川県スキー指導員会と関わることになりましたが、現在の指導員会が一番仲間同士意思充実した濃い会であると思っております。

今年も雪上行事7回、親睦ゴルフ2回が予定されていますが、担当者一人一人が行事に責任をもち、自由な発想で楽しく会員、お客様と向き合える準備をしております。是非皆様も神奈川県スキー指導員会行事に参加頂き、その実態をごらん下さい。心よりお待ち申し上げます。

2. 来シーズンの行事予定

～会員に対するメッセージと行事予定表です～

今年も会員の皆さま、ご家族、ご友人にスキーの魅力を感じていただけるよう活動致します。

雪上行事では4つのコラボ行事を含め10行事を企画します。いずれも、役員がボランティアで執行し、リーズナブルな会費とします。また、4行事についてはバスツアーとし参加を楽しします。各行事には、当指導員会の役員が引率し、初心者でも安心して参加できるようにします。

ジュニアスキー教室の育成活動では「雪とのふれあい体験教室」をスノーヴィア新横浜と2回共催します。多くの方々に、スキー(スノースポーツ)の魅力、自然との一体感や爽快感などを体験、体感していただけるお手伝いをして行きます。

神奈川県スキー指導員会 2015-2016行事予定

行事	行事名	期 日	場 所	備 考
0.	2015(平成27年)総会・懇親会	H27.8/29	NEC玉川クラブ	
1.	第91回親睦ゴルフコンペ(秋季大会)	H27.10/29	上野原CC	
2.	奥志賀高原スキルアップセミナー	H27.12/5-6	奥志賀高原	プロに学ぶ初滑り
3.	野沢温泉ビックゲレンデと温泉を楽しむ旅	H28.1/24-26	野沢温泉	バスツアー
4.	第35回オール神奈川スキーYーズ大会	H28.2/6-7	八海山麓	二日目GS2本
5.	ハンターマウンテン塩原と温泉の旅	H28.2/14-16	ハンタマウンテン塩原	バスツアー
6.	エンジョイスキーin小海	H28.3/3-3/5	小海リエックス	バスツアー
7.	エーデルワイス&ハンタマ&塩原温泉の旅	H28.3/12-14	エーデルワイスとハンタマ	バスツアー
8.	第32回指導員会フェスティバル (公財)神奈川県スキー連盟教育本部車山行事／共催	H28.3/26-27	車山高原	フェスティバル参加で研修会扱
9.	第92回親睦ゴルフコンペ(春季大会)	H28.5/26	上野原CC	
A	雪とのふれあい体験教室I	H28.1/16	富士見バノラマ	スノーヴィア新横浜コラボ
B	雪とのふれあい体験教室II	H28.3/12-13	小海リエックス	
C	八方温泉と春スキー	H28.4/9-10	白馬八方尾根	SIJコラボ行事

詳細は神奈川県スキー指導員会のホームページ URL <http://sik.arts-k.com>をご覧ください。

「神奈川県スキー指導員会」で検索していただいても表示されます。



第34回オール神奈川スキーYーズ大会



ハンタマウンテン塩原と温泉の旅



エンジョイスキーin小海



第31回神奈川県スキー指導員会フェスティバル

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会
平成28年度 第1回 理事会 議事録

日 時 平成27年6月13日(土) 14:00~15:20
場 所 スクワール麹町 〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6
出席者 (名簿順敬称略)
理事19名(出席理事16名、委任3名)
監事2名(出席監事1名、委任1名)

会長 1 坂本祐之輔
副会長 4 半沢進 渡辺忍 山崎一正 榎本勝雄
特別理事 1 増田千春
理事長 1 水島秀夫
副理事長 1 新井臣一
理事 8 吉田勇夫 鈴木勘重 白根一英 石塚光男
福田真人 奥住公夫 和田守義
藤木昇(事務局長)

委任 3 藤島勝雄 古賀澄夫 佐藤昭藏
監事 1 榎本建司(委任 卷坂伸治)
事務局 4 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 井駒利一
理事会の成立

水島理事長より本日の理事会は、総数21人に対し、委任を含め21人で定足数を満たしており有効に成立した旨報告。

会議に先立ち、故)林権一先生を偲び出席者全員で黙祷を捧げた。

1. 開会の辞 半沢進副会長
2. 会長挨拶 坂本祐之輔会長

本日は、大変ご多用のなか、遠路皆さまにご出席いただき、理事会が開催されますこと厚くお礼申し上げます。皆様方には、本年度の事業につきましてご尽力をいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。今日は、皆様方にご審議いただく議案の中で、新たに役員の改選についてもご提案させて頂く次第です。何卒、慎重審議をいただきまして、更なる日指発展のために皆さまのご意見を頂ければと願っております。あわせて、皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶に代えさせて頂きます。

3. 議長選出 坂本祐之輔(会長)を選出。
4. 書記任命 水島三千夫(事務局) 関根紀光(事務局)を任命。
5. 議事録署名人選出 吉田勇夫理事、奥住公夫理事を選出。
6. 議事運営の確認 水島理事長

第1回理事会資料により確認。

7. 平成27年度概況報告

1) 議長の指名により、水島理事長より一般報告(事業別概況)
質疑は特になく了承された。

2) 議長の指名により増田特別理事よりSAJ報告

①平成27年度会員登録加入状況について、会員数86,256
(H27.4.24) 資料により説明。

②平成28年度教育本部事業カレンダー案について、資料により説明。

③教育本部 各種研修会事業報告・各種検定会事業報告について資料により説明。

指導員検定では、(H25)642人が(H26)626人で16人前年より減少、(H27)は545人で81人減少と単位制がなくなったことで、巾が拡がった等受検者の減少傾向など資料により説明。

④会員登録を忘れ、資格が消滅している人への救済措置(ただし遡及は前年度のみ)の案内。

⑤諸物価上昇や税率などから、SAJ各種登録料値上昇の検討が進んでいることについて案内。

3) 議長の指名により藤木理事より本部会計及び会議、事業収支決算報告をした。

なお、榎本監査より平成27年度監査報告がされた。

以上の報告について質疑は特になく了承された。

8. 審議事項

1) 議長の指名により藤木理事より平成28年度事業計画(案)について説明。

審議結果は提案とおり承認された。

2) 議長の指名により藤木理事より平成28年度本部会計予算(案)について説明。

審議結果は提案とおり承認された。

3) 議長の指名により和田理事(規約等検討委員長)より規約改定(案)について説明。

主な改正点
①総会における代表委員数と理事数とのアンバランス。(議決権の見直し)

②総会構成員の役員の中に監事が含まれており議決権を有している。(役員の定義見直し)

審議結果は提案とおり承認された。

4) 議長の指名により水島理事長より役員改選(案)について説明
福田真人(埼玉県)を理事候補から代表委員候補に変更する提案があり、これを含めて審議した結果、承認された。
なお、神奈川は役員改選中のため本日は提案できなかつたが総会までに、理事と代表委員候補者を届出するよう依頼中。

5) 各県提出書類による案件について
特になし。
6) 議長の指名により藤木事務局長より平成28年度総会開催のご案内を資料に基づき説明した。
総会開始時間について、早すぎるとの意見が東北ブロックからあり、審議した結果11時開始とした。
時間変更については、総会関係者に文書にて事務局よりご案内する。

開催日: 平成27年6月27日(土) 総会 11:00~12:30
懇親会 13:00~15:00(会場の都合による)

会場: スクワール麹町

9. その他

1) スキー活性化に向けて(パネルセッション)について
神奈川県スキー指導員会より、屋内スキー場を活用したスキー普及活動の事例を、総会後の懇親会にてコーナーを設け紹介することの提案があり、新しい試みとして実施することを承認した。

2) S I J会報31号 ご寄稿のお願い
藤木事務局長より、S I J会報31号の原稿締切を8月8日で確認と寄稿のお願いをした。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会 会長が閉会を宣し、15時20分に閉会した。
以上の議事録を証するため下記に署名する。

2015年7月10日

議長 坂本祐之輔 印
議事録署名人 吉田勇夫 印
議事録署名人 奥住公夫 印

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成28年度 総会 議事録

日 時 平成27年6月27日(土) 11:00~12:00
場 所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話 03-3234-8739
出席者 (名簿順敬称略)

名譽役員 福岡孝純 大澤佑吉 長澤光雄
会長 坂本祐之輔
副会長 藤島勝雄 半沢進 渡辺忍 山崎一正 榎本勝雄
特別理事 増田千春
理事 吉田勇夫 鈴木勘重 白根一英 新井臣一
奥住公夫 和田守義 水島秀夫 藤木昇(事務局長)
委任 古賀澄夫 石塚光男 福田真人 佐藤昭藏
代表委員 三浦光男 庄司高士 芳賀寛 西塚彰 大山重彦
委任 金井久 小林賢 宮津久男
監 事 卷坂伸治 委任 榎本建司
顧問弁護士 菅原哲朗
事務局 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 井駒利一

1. 開会の辞: 水島秀夫理事長
忙しい中ご出席有難うございます。平成28年度日本スキー指導者協会総会を開会します。
欠席者の報告。

2. 会長挨拶: 坂本会長

故)林権一先生を偲び出席者全員で黙祷。

誠にご多様な中、全国各地から大勢の代表委員、役員の皆様方のご出席をいただき、総会が開催できることに厚く御礼を申し上げます。また皆様には、当会の発展、さらにはそれぞれの地域においてスキー指導者としてスキーの普及振興にあたかいで尽力をいたしております。またさらには、(公財)全日本スキー連盟発展のためにも、その底力としてお支えを頂いておりますことに、深く敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

お陰様をもちまして、総会を迎えることができましたが、昨年は創立30周年の記念式典並びに祝賀会が盛大に開催することができました。ご尽力をいただきました皆様方に改めて厚く御礼を申し上げます。また、ゴルフ大会或いは八方でのスキー大会等も、無事終了しスキー大学の参加も実行をいたしました。総会を契機としまして、さらに、今後スキー指導者協会が発展を遂げるために皆様方に変わらぬお力添えを賜りますようお願いを申し上げ

ます。また、本総会におきましては役員の一部交代がございます。退任をされる皆様が、役職がかわってご就任をいただくこととなるわけですけれども、なかでも当会に長年ご尽力をいただきました事務局員としてご活躍いただいた井駒さんがここでご退任をされるということをございまして、この場をお借りしまして深く感謝を申し上げる次第でございます。

スキースポーツの普及発展、皆様方の双肩にかかっていると言つても過言ではありません。多くの先輩の皆様を中心といたしまして、これからも我が国のスポーツの一躍を担わせていただければと願っております。全日本スキー連盟もこの夏は役員改選がございまして、鈴木会長或いは岡山専務理事、吉田副会長がご定年になられるとお伺いをいたしておりますので、新たにその選考委員の取りまとめ役として会長から私がご下命をいただいております。全日本でもここでオリンピックの成果を残した後の発展につくさせていただきたい。そのためにも皆様方の変わらぬお力添えをいただきますようにお願いを申し上げます。

最後になりますが、外で受付をされていた井駒さんがおみえでございます。長年にわたり当会発展のためにご尽力をいただきましたことにこの場をお借りいたしまして改めて厚く御礼申し上げます。

それでは、大変ご多用の中皆様方にご出席をいただきましたことに重ねて厚く御礼申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。

3. 議長選出：坂本会長

4. 書記指名：水島次長、関根局員

5. 議事録署名人選出：三浦代表委員、大山代表委員

6. 議事運営の確認（水島理事長）

7. 平成27年度報告

7. 1 平成27年度概況報告（水島秀夫理事長）

一般報告（事業別概況）をした。

7. 2 S A J 報告（増田千春特別理事）

1) 資料により次の報告があつた

(1) 教育本部各種検定会事業報告

(2) 平成27年度会員登録加入状況

(3) 平成28年度 2015/2016 シーズン教育本部事業カレンダー

2) 各県連に案内をしている事項

(1) 資格喪失の救済について

(2) 登録料の値上げについて（平成29年度からの見込み）

7. 3 平成27年度本部会計及び事業決算報告（藤木昇事務局長）

資料に沿って報告。今年度は石川県からも会費が入金された。

7. 4 平成27年度監査報告（巻坂伸治監事）

資料に沿って報告。

○審議

議事7につき、原案通り承認。

総会成立の報告（水島秀夫理事長）

規約第24条により出席者22名、委任7で成立している旨報告。

8. 提案事項

8. 1 平成28年度事業計画(案)（藤木事務局長）及び

8. 2 平成28年度本部会計予算(案)（藤木事務局長）

資料に沿って説明。

○審議

議事8. 1及び8. 2につき、原案通り承認。

8. 3 規約改定について（和田規約等検討委員長）

資料に沿って説明

主な改正点

①総会における代表委員数と理事数とのアンバランス。（議決権の見直し）

②総会構成員の役員の中に監事が含まれており議決権を有している。（役員の定義見直し）

○審議

議事8. 3につき、原案通り承認。

8. 4 役員改選について（水島秀夫理事長）

○審議

議事8. 4につき、原案通り承認。

8. 5 各県提出書類による案件について

特になし。

8. 6 その他連絡とお願い（インストラクター31号原稿依頼など）
(藤木事務局長)

インストラクター31号原稿依頼

本日の懇親会時間の確認 13時から15時まで

(鈴木理事)

石川県から会費が納入されたので役員をだしてもらったほうがよいのでは。

(藤木事務局長) 代表委員の選出を石川県と福井県に依頼する。

(藤木事務局長) 理事長の選出について

理事長、副理事長についてはこの総会終了後、臨時理事会を開催し互選する。

(大澤顧問) インタースキーが南米であるがS A Jでは使節団とか考えているのか。

(増田特別理事) まだはつきりしていない。

9. 書記解任

10. 議長解任

11. 閉会の辞（坂本会長）

以上の議事録を証するため下記に署名する。

平成27年7月10日

議長 坂本祐之輔 印

議事録署名人 三浦光男 印

議事録署名人 大山重彦 印

（公財）全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成28年度 臨時 理事会 議事録

1. 開催日時 平成27年6月27日（土）

午前11時45分から午前11時55分まで

2. 開催場所 スクワール麹町 5階寿の間

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6

3. 理事総数 17名

出席理事数 16名（欠席1名）出席監事1名（欠席1名）

会長 坂本祐之輔

副会長 藤島勝雄 半沢進 山崎一正 水島秀夫

特別理事 増田千春

（理事）吉田勇夫 鈴木勘重 白根一英 新井臣一

奥住公夫 和田守義 水島三千夫 大山重彦 藤木昇

（欠席：古賀澄夫 石塚光男）

（監事）巻坂伸治（欠席：榎本建司）

平成28年度（公財）全日本スキー連盟日本スキー指導者協会の総会に於いて規約改定と役員の改選が承認されたのを受けて、規約28条に基づき会長が臨時理事会を招集した。

4. 審議事項 1. 理事長の選定について

2. 副理事長の選定について

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

会長坂本祐之輔が議長となり、議事録署名人に、理事大山重彦理事藤木昇の2名を選任したいとの提案をし、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認した。

続いて議案の審議に入った。

議案1 理事長選定の件

議長は、規約第10条5項の規定に基づき理事長1人を選定したい旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致をもって、下記の者が選定された。なお、被選定者は、その就任を承諾した。

理事長 水島三千夫 神奈川県鎌倉市大船一丁目26番13号
議案2 副理事長選定の件

議長は、規約第9条2項により副理事長若干名を規約第10条5項の規定に基づき、選定したい旨を述べ、議場に諮ったところ候補者は一名となり全員一致をもって、下記の者が選定された。なお、被選定者は、その就任を承諾した。

副理事長 新井臣一 埼玉県東松山市上野本273-4

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午前11時55分閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

平成27年7月10日

議長 坂本祐之輔 印

議事録署名人 大山重彦 印

議事録署名人 藤木昇 印

平成 27 年度 事 業 別 概 況 報 告

開催年月日		事 業 内 容	会 場
1	H26年6月1日 総参加数16名	H27年度第1回理事会 役員事務局 16名	衆議院第2議員会館 1124号室
2	H26年6月28日 総参加数31名	H27年度 総会、懇親会 役員事務局 28名 他3名	スクワール麹町
3	H26年10月1日	会報第30号（創立30周年記念特集）の発行	13,000部発行
4	H26年10月18日 ～19日 参加総数49名	第21回SIJ親睦ゴルフ大会 岩手県 1、宮城県 4、福島県12、埼玉県12 千葉県4、東京都 6 神奈川県 10	那須カントリー クラブ
5	H26年11月19日 参加総数46名	SIJ創立30周年祝賀会 役員事務局 29名 ご来賓17名	スクワール麹町
6	H27年1月8日 ～12日 参加総数8名	第14回みんなで行こうS A J スキー大学 岩手県 3、東京都 2、神奈川県 2、長野県 1	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
7	H27年4月11日 ～12日 参加総数15名	2015 SIJ懇親スキーフェスティバル（白馬） 千葉県 6、東京都 1、神奈川県 8	白馬八方尾根スキー場 本部宿舎：対岳館
8	H27年5月31日	第1回（拡大）事務局会議 役員、事務局9名	連合会館

平成 27 年度 決 算 報 告 書

1. 収入の部

(▲予算比減)単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 比 増 減	項 目
前期繰越金	432,553	432,553	0	前年度より
年会費	723,000	737,500	14,500	
会議費	240,000	186,000	▲54,000	
事業費	1,247,480	946,400	▲301,080	
用品販売費	0	0	0	ワッポン、シール
雑 収 入	40	56	16	銀行利息
合 計	2,643,073	2,302,509	▲340,564	

2. 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 内 訳	予 算 比 増 減	項 目
会議費	320,000	212,505	▲107,495	
事業費	1,967,480	1,602,090	▲365,390	
用品加工費	0	0	0	ワッポン、シール
通信費	50,000	39,061	▲10,939	切手、葉書、印紙購入、電報料、振込料
事務費	50,000	34,340	▲15,660	資料、議事録、封筒作製
事務所借用料	20,000	20,000	0	事務所借用料
涉外費	50,000	19,033	▲30,967	慶弔費（弔電、生花）
ホ-ム^。-ジ^費	60,000	60,216	216	ホ-ム^。-ジ^維持費
雑 支 出	10,000	0	▲10,000	
支 出 合 計	2,527,480	1,987,245	▲540,235	
次期繰越金	115,593	315,254	199,671	
合 計	2,643,079	2,302,509	▲340,564	

3. 財産目録

単位：円

現金又は預金先	金額
現金	10,549
普通預金（みずほ銀行八重洲口支店）	304,715
合 計	315,264

平成 28 年度 事 業 計 画

	開催年月日	事 業 内 容	備 考
1	H27年6月13日(土)	H28年度第1回理事会	スクワール麹町
2	H27年6月27日(土)	H28年度総会、懇親会	スクワール麹町
3	随時開催	H28(拡大)事務局会議	
4	H27年10月17日(土)~18(日)	第22回SIJ親睦ゴルフ大会(秋季) 募集 60名	那須CC 17日前夜祭 18日大会
5	H27年10月上旬	会報31号発行	14,000部
6	H28年1月7日(木)~11日(月)	第15回みんなで行こうSAJスキーユニバ	朝里川温泉スキー場 朝里クラッセホテル
7	H28年4月9日(土)~10日(日)	2016SIJ懇親スキーフェスティバル(白馬) 募集 40名	白馬八方尾根スキー場 本部宿舎:対岳館

平成 28 年度 本 会 計 予 算

1. 収入の部

単位:円

科 目	予算額	前年予算額	増 減	摘 要
繰 越 金	315,264	432,553	▲117,289	
年 会 費	737,500	723,000	0	
会 議 費	240,000	240,000	0	
事 業 費	510,000	1,247,480	▲737,480	第22回SIJ親睦ゴルフ大会 第15回SAJスキーユニバ企画料 2016SIJスキーフェスティバル(白馬)
雑 収 入	40	40	0	銀行利息他
合 計	1,802,804	2,643,073	▲840,269	

2. 支出の部

科 目	予算額	前年予算額	増 減	摘 要
会 議 費	350,000	320,000	30,000	
事 業 費	980,000	1,967,480	▲987,480	
(内訳)				
	210,000	327,480	▲117,480	第22回親睦ゴルフ大会
	650,000	900,000	▲250,000	会報31号14000部
	0	700,000	▲700,000	SIJ創立30周年記念祝賀会
	120,000	40,000	80,000	2016SIJ懇親スキーフェスティバル
通 信 費	50,000	50,000	0	切手、葉書
事 務 費	40,000	50,000	▲10,000	印刷、コピー
事務所借用料	20,000	20,000	0	
涉 外 費	40,000	50,000	▲10,000	涉外、慶弔
ホ-ム-ジ- 費	60,000	60,000	0	
雑 支 出	10,000	10,000	0	雑費
支 出 合 計	1,550,000	2,527,480	▲977,480	
次期繰越金	252,804	115,593	137,211	
合 計	1,802,804	2,643,073	▲840,269	
当期収支差額	0	0	0	

第21回S. I. J親睦ゴルフ大会実施報告書

1. 前夜祭(懇親会) 那須カントリークラブ 栃木県那須郡那須町寺子乙677-28 0287-62-0840
 平成26年10月18日(土) 18時より夕食兼懇親会 レストラン 司会 事務局長 藤木 昇
 開始 18時05分

1. 開会のことば	司会	半沢 進
2. 会長挨拶	副会長	和田 吉二
3. 地元挨拶	那須CC支配人	水島 秀夫
4. 競技説明	理事長	藤木 昇
5. 協賛及び役員紹介	事務局長	榎本 勝雄
6. 乾杯	副会長	吉田 勇夫
7. 各県状況報告	各県代表より状況報告	
8. 中締め	理事	
9. 閉会のことば	司会 事務局長	藤木 昇

終了 20時00分

2. ゴルフ大会 那須カントリークラブ 栃木県那須郡那須町寺子乙677-28 0287-62-0840
 平成26年10月19日(日)

① 開会式	司会 理事長	水島 秀夫	開始 7時45分
1. 会長挨拶	副会長	榎本 勝雄	
2. 競技説明	理事長	水島 秀夫	
スタート	8時00 アウト7組/イン6組	同時スタート	コース内カート乗り入れ不可
② 表彰式並びにパーティー	司会 事務局長	藤木 昇	開始 15時10分
1. 開会のことば	参与	長澤 光雄	
2. 会長挨拶	副会長	半沢 進	
3. 地元挨拶	那須CC支配人	合つかず省略	
4. 成績発表	事務局長	藤木 昇	
5. 表彰	副会長	半沢 進	
6. 優勝者挨拶	中村 洋二	(福島県)	
7. 中締め	理事	奥住 公夫	
8. 閉会の辞	理事長	水島 秀夫	終了 15時55分

前夜祭参加者 21名、コンペ参加者数 44名、新ペリア方式採用 パーティー等も含めた総参加者49名
 参加県 岩手県1、宮城県4、福島県12、埼玉県12、千葉県4、東京都6、神奈川県10

成績

順位	個人戦 男子の部						個人戦 女子の部						団体戦上位8人	
	氏名	県名	グロ	ハンド	ネット	氏名	県名	グロ	ハンド	ネット	県名	ネット計		
1位	中村 洋二	福島県	80	7.2	72.8	吉田企王代	神奈川県	101	27.6	73.4	埼玉県	787.4		
2位	高田 潤一	宮城県	87	13.2	73.8	浅野 恵子	福島県	100	21.6	78.4	福島県	793.0		
3位	八木 郁雄	福島県	93	19.2	73.8	田中 恵美	埼玉県	99	20.4	78.6	宮城県・東京都	797.2		

各賞

ベストグロス賞				シニアの部				アトラクション賞			
部	氏名	県名	グロ	1位	仲田 健	福島県	ドラコン	アウト3	宮房 哲人	イン12	涌井 康弘
男子	高橋 哲男	埼玉県	78	2位	倉持賢二郎	神奈川県	ニアピン	アウト5	弦弓 守男	イン11	倉持賢二郎
女子	田中 恵美	埼玉県	99	3位	仲田美智子	福島県	ニアピン	アウト7	弦弓 守男	イン15	吉田企王代

協賛会社 (敬称略)
 (順不同) 那須カントリークラブ、ハンターマウンテン塩原、スキージャーナル、ボーヤ、東京シスター

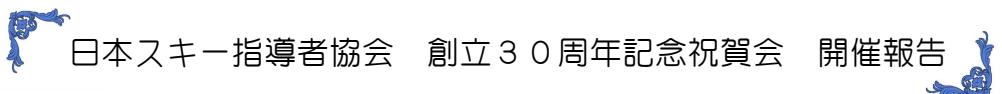
日本スキー指導者協会	会長	坂本祐之輔	日本スキー指導者協会	監事	榎本 建司
岩手県スキー指導員会	会長	吉田 勇夫	山形県スキー連盟	常任理事	鈴木 勘重
宮城県スキー指導員会	会長	半沢 進	千葉県スキー指導員会	顧問	渡辺 忍
千葉県スキー指導員会	会長	佐藤 昭藏	東京都スキー指導者協会	会長	山崎 一正
神奈川県スキー指導員会	名誉会長	榎本 勝雄			

今年は連休を避け去年より1週間遅れの開催ですが、18日の前夜祭は去年の40名から21名と寂しくなりました。夕食を兼ねた懇親会のテーブルは、違う県同士の組合せをし、新しい出会いで和気あいあいの会話や、各県の状況報告で、6都県会員の交流も深まり楽しいものとなりました。その後ホテルのロビーでは待っていましたとばかりの大二次会、お国自慢の酒やつまみを持ち寄り、各県の人達が大いに盛り上りました。

翌19日は快晴無風、8時スタート。カートの乗り入れができませんでしたが順調に進み、全組が競技終了し表彰式は15時10分開始。表彰式並びにパーティーでは、上記各社の協賛支援を賜り全員に賞品を授与する事が出来ました。協賛各社にお礼を申し上げます。15時55分に表彰式も終わり、各地に向け帰路につきました。

皆さんお疲れさまでした。紅葉シーズンで渋滞の事もあり、神奈川、東京の8名はJR普通列車のグリーン車で宴会を開きながら帰ったグループもありました。来年はもっと多くの参加者になる様各県のご協力をお願いします。参加の皆様からは、「懇親会、ホテルの2次会は最高に楽しかった」との声も頂きました。ゴルフの組分けも、他県の人と2人ずつの組も数組つくり、違った県の方との交流も深まったと思っています。





日本スキー指導者協会 創立30周年記念祝賀会 開催報告

日 時 平成26年11月9日 15時～17時30分
 会 場 スクワール麹町 芙蓉の間
 〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 TEL 03-3234-8739

式次第

司会	和田 守義	理事
開会のことば	水島 秀夫	理事長
会長挨拶	坂本祐之輔	会長
来賓祝辞	登山 一成	(公財) 全日本スキー連盟教育本部長
30年の足跡紹介	渡辺 忍	副会長
表彰状贈呈	10年以上功労表彰者	21名 並びに 物故者6名
	受賞者代表	名譽会長 菅 秀文、顧問 杉崎壽三郎
表彰者代表謝辞	受賞代表	
乾杯	藤島 勝雄	副会長
祝宴	参加各位より	30周年に因んだお話しを頂く
中締め挨拶	山崎 一正	副会長
閉会のことば	半沢 進	副会長

概要

20周年祝賀会と同じ会場のスクワール麹町において、ご来賓、各県の祝賀のお客様、役員計46名が参加して開催された。和田守義理事の司会のもと、水島秀夫理事長の開会のことばで開会が宣言された。まず最初に司会者の合図によりこの10年間になくなられた物故者に対して全員で黙祷した。

次に坂本祐之輔会長の挨拶、登山S A J 教育本部長の祝辞のあと、渡辺忍副会長が、創立以来の出来事について、特に、現会長坂本祐之輔氏に会長就任を依頼したときのエピソードを交えお話ししがあった。

次に功労者表彰が行われ、対象者全員が前に並び菅名譽会長と杉崎顧問の両代表が賞状を受け謝辞を行った。祝電披露

その後、藤島勝雄副会長の発声で乾杯し祝宴が開始された。宴が進み各県の出席者が壇上に上がって、参加各県の紹介となった。東京都では、来賓として参加された(一財)東京都スキー連盟の方々の紹介と挨拶、菅原哲朗顧問弁護士のお話、大澤顧問の各種事業の実施の苦労話等紹介された。

山崎一正副会長の中締め、半沢進副会長の閉会のことばで17時30分にお開きとなった。

久しぶりに会った方もおられ、各県の交流がはかられた楽しい祝賀会となつた。

なお、当日には、10月1日に発行された会報「INSTRUCTOR 30号」創立30周年記念特集号も配布され、会報第1号から29号までの展示と、「日本スキー発祥100年誌」の展示紹介もされた。



公益財団法人全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会 創立30周年記念祝賀会 写真集
平成26年11月9日 東京都千代田区麹町 6-6 スクワード麹町 芙蓉の間



会長挨拶 坂本祐之輔



来賓祝辞 登山一成(公財)SAJ教育本部長



30年の足跡紹介 渡辺忍 副会長



功労表彰状贈呈 代表 菅名誉会長



功労表彰状贈呈 代表 杉崎顧問



乾杯挨拶と発声 藤島勝雄 副会長



祝宴の様子 1



祝宴の様子 2



挨拶 菅原哲朗 顧問弁護士



挨拶 藤島副会長 登山SAJ来賓も紹介



挨拶 吉田理事 岩手県



挨拶 半沢副会長 宮城県



挨拶 鈴木理事 山形県



挨拶 阿部理事 福島県



挨拶 渡辺SIT副会長 東京都



挨拶 大山代表委員 神奈川県出席者紹介



中締め 山崎一正 副会長



記念写真 会長を囲んで千葉県の方々

第14回みんなで行こう S A J スキー大学実施報告書

日 程 A 日程対応 平成27年1月8日(木)～12日(月) 5日間
 B 日程対応 平成27年1月8日(木)～11日(日) 4日間 旅行取扱 株シティフェイス
 会 場 北海道 朝里川温泉スキー場 (〒047-0154北海道小樽市朝里川温泉1-394 TEL 0134-54-0101)
 宿 舎 朝里クラッセホテル (〒047-0154北海道小樽市朝里川温泉2丁目676 TEL 0134-52-3800) 3名1室
 費 用 羽田8日朝/夜発 5日間 A朝夕共67,800円航空運賃、宿泊代(4泊4朝食)
 羽田8日朝/夜発 4日間 B朝夕共59,800円航空運賃、宿泊代(3泊3朝食)
 参 加 者 8名 岩手3、東京2、神奈川2、長野1 (A日程6名、B日程2名)
 日 程
 1/08(木) 朝羽田 8:00発→ANA53新千歳空港到着 1時間遅れマイクロバス迎車2名朝里クラッセホテル12:30
 豪雪 夕羽田 20:00発→ANA79新千歳空港上空待機 1時間遅れマイクロバス迎車ホテル24:00着2名
 いわて花巻15:30発→JAL2834新千歳空港 1時間遅れ 3名
 1/09(金) 8:00～9:00 スキー大学受付
 小雪 9:00 開会式
 9:30～10:15 講師によるデモ(研修テーマ:基礎パラレルへの展開)
 10:15～15:00 ナショナル/S A J デモによる班別実技講習
 15:30～17:00 理論講習:班別に講師とのミーティング
 1/10(土) 9:30～15:00 午前/午後ナショナル/S A J デモによる班別実技講習
 晴後小雪 15:30～17:30 小林規専門委員による研修テーマ「新教程と規定改正のポイント」理論
 18:00～19:30 講師と受講生全員による交流会パーティー
 1/11(日) 9:30～11:30 ナショナル/S A J デモによる班別実技講習
 曇/小雪 11:30～12:00 講師によるデモ兼クリニック(検定種目別演技)
 12:00～12:30 B日程(3日コース)全員127人で閉会式
 15:00～ B日程朝里クラッセホテル発 ツア-専用タクシー、ANA76 20:10 羽田空港着
 以後はA日程(4日コース)
 14:00～16:30 ナショナル/S A J デモによる班別実技講習/理論講習
 1/12(月) 9:30～11:30 ナショナル/S A J デモによる班別実技講習
 曇 11:50～12:00 スキーセッション 講師がレッドコースをフォーメーションによるデモンストレーション
 ヨン滑降
 12:00～12:20 A日程(4日コース)全員169人で閉会式
 14:30～17:20 A日程朝里クラッセホテル発 ツア-専用タクシー、順調に千歳到着
 18:30 新千歳発ANA76到着遅れで30分程出発遅延 20:40羽田空港着

概況

1. 今回のツアー参加は昨年と同じ8名と少なかった。S. I. J. のホームページへの掲載遅れが悔やまれる。
2. 今年も1月成人の日の開催で、スキー場はすいていたが、8日の北海道の天候が悪く、空港除雪待ちの待機でほとんどが1時間以上到着が遅れた。帰りの12日の飛行機は連休のため満席だった。
3. 今年のスキー大学第一会場全参加者は去年より34名少ない296名であった。
4. 第一会場のスキー大学は和気あいあいとした雰囲気で半分以上リピーターの参加者である。
5. 研修テーマは新教程にそって行われ、外足荷重、外向傾の重視と横滑り、システムターンの導入となった。

現場の指導論重視への転換である。

6. 毎日講師が変わり、異なった教え方に接して新鮮な気持ちで講習に望め、人気のあるデモに教えてもらえる確率が高くなると好評だった。
7. 相部屋で1人で安く参加できる募集形態で行った。確実に参加できるツアー企画として良いものと思われるマイクロバスの送迎サービスもありがたい。
8. 参加費用が消費増税と共に高くなつたのが悔やまれるが、もっと参加者が増える様P Rの工夫を行いたい。

2015 第14回みんなで行こう S A J スキー大学写真集



開会式 責任者挨拶 登山一成SAJ教育本部長



開会式 主任講師挨拶 森 信之 主任講師



初日のデモ 研修テーマ 基礎パラへの展開 他



班別 実技講習 1



班別 実技講習 2



班別ミーティング



理論講習 新教程の理解



2日目夜の交流パーティ 登山本部長挨拶と各班での盛り上がり



3日目の検定クリニック解説



種目演技



3日目 B日程閉会式



3日目理論 デモへの質問



スキセッション テモノのフォーメーション



4日目 A日程閉会式

2015 SIJ懇親スキーフェスティバル(白馬)実施報告書

日 程 平成 27 年 4 月 11 (土) ~ 12 日 (日)

日 稲	内 容
4/11(土)	13:00 開会式 八方尾根うさぎ平 ゴンドラ駅前 榎本副会長以下14名 ~15:00 伊藤妙子講師とともに滑ろう 受講12名 20:00~ ホテルにて懇親会 15名
4/12(日)	自由行動 各自解散

本部宿舎 ホテル対岳館 〒399-9301長野県北安曇郡白馬村八方 TEL 0261-72-2075

スキー場 白馬八方尾根スキー場 〒399-9301長野県北安曇郡白馬村八方

全参加者 千葉 6名、東京都 1名、 神奈川県 8名 総計15名

協 賛 榎本副会長、水島理事長、奥住理事、藤木理事

概 要 昨年に引き続き、各都道県指導員会の交流の集いとして2015SIJ懇親スキーフェスティバル(白馬)を開催し関東3都県より15名が参加した。

今年は統一地方選挙の日と重なり、業務の都合で会長はじめ参加できなかった人も多く、去年より10名少ない15名の参加となった。

11日 : 13時に八方尾根ゴンドラ上、うさぎ平にて開講式を行った。

天候はリフト柱1本の間隔も見えない霧の中。榎本副会長の挨拶のあと、白馬八方スキースクールの伊藤妙子講師の案内で霧の中視界の開けるであろう名木山ゲレンデへそろそろ下山移動した。案の定途中ではぐれた人もいたが、合流し名木山のザクザクゲレンデでパラレル導入や小回り導入への横滑りなど悪雪のなか15時まで講習をして頂いた。20時より、対岳館の2階で懇親会を開き、丸山特別顧問挨拶、特別参加の伊藤講師の乾杯の後、丸山特別顧問の懐かしいスキーハイク時代のお話や伊藤講師の大会での思い出など、参加者各人間で懇談した。その後榎本副会長から協賛頂いた賞品の抽選会を行い全員が賞品を頂いた。懇親会はなお続きスキー談義で夜もふけた。

12日 : 快晴、フリースキー 朝の綺麗な雪のうちにと11時頃まで滑り各自帰途についた。

全体として関東3都県ではあったが交流が深まり有意義だった。怪我もなく無事終了。

尚、当日第20回八方スーパー モーグル大会が鬼平で開催された。また、第1回白馬八方スーパー ティカルレースが行われた。選手はゴンドラ乗り場から、ゲレンデをスキーにて標高差900mを駆け上がり、アルペンリフト山頂折り返しで登ってきたコースを一気に滑走するダイナミックなレース。雪上登山トライアスロンだ。各選手頑張っていた。



11日開講式 榎本副会長挨拶



11日開講式 参加者



11日夕食 奥住千葉会長乾杯



11日夕食 千葉参加者と



11日夕食 神奈川・東京参加者と



11日懇親会丸山特別顧問挨拶



11日懇親会丸山特別顧問のお話



12日バーチカルレース 900m登り山頂折返点到着、シールを外し滑降開始



INSTRUCTOR No.31

(公財)全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会規約

第1章 総則

(名稱)
第 1 条 この会は、(公財)全日本スキー連盟 日本スキー指導者協会
(英文名 SKI INSTRUCTOR OF JAPAN、略称S. I. J.) という。

(事務所)
第 2 条 この会の事務所は東京都に置く。

第2章 目的および事業

(目的)
第 3 条 この会は、スキー指導者相互の情報交換をはかることにより、スキー界の活性化に寄与し、あわせて
スキー指導者の資質の向上と社会的貢献をはかることを目的とする。

(事業)
第 4 条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。
(1) スキー指導者相互の情報交換と連携。 (2) (公財)全日本スキー連盟(略称S. A. J.)への協力。
(3) 機関紙の発刊。 (4) その他この会の目的達成に必要な事業。

第3章 会員

(会員)
第 5 条 この会の会員は、S. A. J.加盟団体及びスキー指導者により構成する各都道府県の団体を会員とする。
ただし、団体が会員でない場合は個人を会員とすることができます。

(賛助会員)
第 6 条 この会の目的に賛同しその事業に協力する個人または団体を賛助会員とすることができます。

(会員の義務)
第 7 条 会員は、この会の行う事業に積極的に協力し、または行事に参加するものとする。
2. 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。

(退会)
第 8 条 会員が退会するときは、その理由を付し退会届を会長に提出しなければならない。

第4章 役員

(役員)
第 9 条 この会に次ぎの役員をおく。
(1) 理事 10名以上20名以内 (2) 特別理事 若干名 (3) 監事 2名
2. 理事のうち1人を会長、若干名を副会長、1人を理事長、若干名を副理事長とする。

(役員の選任)
第 10 条 前条の役員は、総会で選任する。

2. 会長、副会長の選出は別に定める。
3. 理事は、ブロック及び会長より推挙する。
4. 特別理事は理事会で推挙する。
5. 理事長及び副理事長は、理事の中から理事会の互選により選出する。

(役員の職務)
第 11 条 会長はこの会を代表し、この会の業務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長が事故ある場合及び必要に応じ職務を代行する。
3. 理事長は、会長および副会長を補佐し、この会の業務を掌理する。
4. 理事は、日常の業務を執行する。

(監事の職務)
第 12 条 監事は会議に出席し、意見をのべることができる。ただし議決に加わる事はできない。
2. 監事は、次の各号に定める業務を行う。
(1) 財産の状況および整理の監査。
(2) 業務執行状況の監査。
3. 監査の結果、必要があると認めたときは、総会を招集することができる。

(役員の任期)
第 13 条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。
2. 役員はその任期満了後でも、後任者が選任されるまでは、その職務を遂行する。
3. 補充または増員により選出された役員の任期は、現任者の残存期間とする。

(役員の解任)
第 14 条 役員が次ぎの各号に該当したときは総会の議決を経て解任することができる。
(1) 心身の故障のため職務執行に耐えられないと認められたとき。
(2) 職務上の義務違反、および役員にふさわしくない行為があったと認められたとき。

(役員の報酬)
第 15 条 役員は、原則として無報酬とする。
ただし、その職務のため必要な費用について支給することができる。

(名誉役員)
第 16 条 この会に、名誉会長、名誉顧問、特別顧問、顧問、参与、会友をおくことができる。
2. 名誉会長はこの会の会長であった者を総会にはかり会長が委嘱する。
3. 名誉顧問はこの会の名誉会長であった者、および同等の功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
4. 特別顧問は、必要に応じ総会にはかり会長が委嘱する。
5. 顧問及び参与は、この会の発展に特に功労のあった者を総会にはかり会長が委嘱する。
6. 特別顧問及び顧問は、特定事項について会長の諮問に応ずる。
7. 参与は、特定事項について理事会の諮問に応ずる。

(事務局)
第 17 条 この会の事務処理を行うために事務局をおく。
2. 事務局の構成は次ぎのとおりとする。
局長 1名、次長 2名以内、局員 若干名。
3. 局長は会長が任命し、理事とする。
4. 次長及び局員は会長が任命する。
5. 局員は有給とすることができる。ただし、その報酬は理事会の議決を得て会長が定める。

第5章 会計

(会計年度)
第 18 条 この会の会計年度は毎年6月1日より5月31日までとする。
(経費)

第 19 条 この会の運営に要する費用は次の各号を以ててある。
(1) 年会費 (2) 事業収入 (3) 協賛金 (4) 補助金 (5) その他の収入
(年会費)

第 20 条 年会費は原則として都道府県会員の規模割りによるが、実情によりブロック単位に算定し納入することができる。
なお、その算定方法は、個人会員とあわせ別に定める。

第6章 会議

(会議の種類)

第21条 この会の会議は、総会、理事会、その他各種委員会とする。

(総会)

第22条 総会はこの会の最高の議決機関とする。

(総会の構成)

第23条 総会は、各都道府県から選出された代表委員及び役員で構成する。

2. 名誉役員に出席を要請し、意見を求めることができる。

(総会の招集)

第24条 総会は毎年1回以上、会長が招集する。

ただし、代表委員の2分の1以上から会議の目的事項を示し、総会開催の請求があったときは60日以内に総会を招集しなければならない。

(総会の議決)

第25条 総会の議決は、特別に定めた事項を除き、出席理事及び代表委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は議長が決するところによる。

(総会の議長)

第26条 総会の議長は会長もしくは会長の指名する者とする。

(総会の審議事項)

第27条 総会は次の事項を審議、決議する。

- | | |
|------------------------|------------------|
| (1) 事業計画及び収支予算に関する事項 | (5) 会員の加盟の承認及び除名 |
| (2) 事業報告及び収支決算報告に関する事項 | (6) 会員からの提出議案 |
| (3) 役員の選出、承認及び解任 | (7) 役員及び会員の表彰 |
| (4) 規約、規程の改廃 | (8) その他、必要と認める事項 |

(理事会)

第28条 理事会は会長、副会長、理事、特別理事、監事をもって構成し、会長が必要に応じ招集する。

2. 理事会の議長は会長もしくは会長の指名する者とする。

3. 会長は必要に応じ、名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる。

(理事会の業務)

第29条 理事会は次の業務を処理する。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| (1) 事業計画及び予算の立案ならびに執行 | (5) 会員拡大に関する事項 |
| (2) 事業報告及び決算の処理 | (6) 会員からの提出議案の処理 |
| (3) 役員等の選考に関する事項 | (7) 役員及び会員の表彰者の推薦 |
| (4) 規約、規程の立案 | (8) その他、必要事項 |

(各種委員会)

第30条 この会に事業遂行上必要と認める場合、各種委員会をおくことができる。

2. 各種委員会の設置及び構成する委員の選出は理事会の議決による。

3. 委員は会長が委嘱する。

(議事録)

第31条 総会及び理事会の議事については次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| (1) 開会の日時及び場所 | (5) 会員拡大に関する事項 |
| (2) 会議に出席した構成員の氏名 | (6) 会員からの提出議案の処理 |
| (3) 議決事項 | (7) 役員及び会員の表彰者の推薦 |
| (4) 議事の経過の要旨及び発言者の発言要旨 | (8) その他、必要事項 |
2. 議事録には、議長及びあらかじめ選出された議事録署名人が署名しなければならない。
3. 議事録は作成後すみやかに会議構成員に開示することとする。

第7章 付則

(細則)

第32条 この規約の施行上必要な事項は、別に細則に定めることができる。

(規約の改廃)

第33条 この規約の改廃は、総会において出席理事及び代表委員の過半数の同意によらなければならない。

(規約の施行と改正)

第34条 この規約は昭和58年10月30日より施行する。

昭和61年12月3日改正	平成9年7月12日改正	平成16年7月31日改正
昭和62年8月23日改正	平成10年7月19日改正	平成21年7月26日改正
昭和63年8月27日改正	平成11年7月18日改正	平成22年8月8日改正(全面)
平成6年7月17日改正	平成13年8月5日改正	平成25年6月29日改正(全面)
平成7年7月12日改正	平成15年8月2日改正	平成27年6月27日改正

(公財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会 運営細則

(会長、副会長の選出)

第1条 会長及び副会長は、理事会の推挙に基づき総会において選出する。

(総会への出席)

第2条 賛助会員、名誉会員、個人会員及び都道府県会員に属する個人は総会に出席することができる。ただし、議決には加わらない。

(年会費)

第3条 会員の年会費は原則として別表に定めた金額とする。

(慶弔)

第4条 役員等の慶弔については、必要に応じその都度会長が決め執行する。

付則

第1条 この運営細則の改廃は、理事会において議決し、総会の承認を得なければならない。

第2条 この運営細則は、平成22年8月8日より施行する。

平成25年6月29日改正

平成27年6月27日改正

(公財)全日本スキー連盟
日本スキー指導者協会 役員名簿 2015.6~2017.5

名誉会長	菅 秀文	東 京 都	会 長	坂本祐之輔
特別顧問	丸山 庄司	長 野 県	副会長	藤島 勝雄 北 海 道
顧 問	毛利 修三	北 海 道	〃	半沢 進 宮 城 県
〃	坂井 和夫	北 海 道	〃	山崎 一正 東 京 都
〃	岸 英三	山 形 県	〃	水島 秀夫 神 奈 川 県
〃	渡辺 忍	千 葉 県	特別理事	増田 千春 S. A. J. 理事
〃	福岡 孝純	東 京 都	理 事	水島三千夫 神 奈 川 県 理 事 長
〃	杉崎壽三男	東 京 都	〃	新井 臣一 埼 玉 県 副理 事 長
〃	大澤 佑吉	神 奈 川 県	〃	吉田 勇夫 岩 手 県
〃	榎本 勝雄	神 奈 川 県	〃	鈴木 勘重 山 形 県
参 与	宮本忠五郎	宮 城 県	〃	白根 一英 福 島 県
〃	長澤 光雄	千 葉 県	〃	古賀 澄夫 茨 城 県
〃	佐藤 昭藏	千 葉 県	〃	石塚 光男 栃 木 県
			〃	奥住 公夫 千 葉 県
顧問弁護士	菅原 哲朗	キストン法律事務所	〃	和田 守義 東 京 都
			〃	大山 重彦 神 奈 川 県
			監 事	榎本 建司 栃 木 県
				巻坂 伸治 千 葉 県
			代表委員	三浦 光男 北 海 道
			〃	福田 真人 埼 玉 県
			〃	庄司 高士 千 葉 県
			〃	芳賀 寛 東 京 都
			〃	西塚 彰 東 京 都
			〃	中森 博文 神 奈 川 県
			〃	長谷部 誠 福 井 県
			〃	小林 賢 山 梨 県
			〃	宮津 久男 長 野 県

事務局

局 長	藤木 昇	神 奈 川 県	規約17条3項による理事
次 長	高橋イキ工	東 京 都	
〃	関根 紀光	埼 玉 県	
局 員	滝沢 誠	東 京 都	
	阿久津光代	神 奈 川 県	

事務局だより

S.I.J.事務局は、昨年度は30周年記念行事の実施、会の実態に合わせた規約の検討、各県の実情に合った行事企画と準備、実施に向かった現地との打ち合わせなど、総会で決定した内容の実行を行って参りました。

運営機能

事業企画立案等など理事会や総会までの各種準備、総会決議後の実行など、理事長の指示のもと、事務局と東京近県の副会長、理事、代表委員を交え事務局会議を適宜開催し、会全体の運営のお手伝いをしております。各県の親睦に寄与する事業の実行は日程と予算の調整、実施準備等、会費の中で効率的に実施するために奮闘しております。

総務機能

各県役員または指導員会宛の通知、会費納入のお願い、理事会と総会資料の作成と会議の手配、議事録の作成、スポンサー募集とお礼状の発送、慶弔に関する連絡と手配等を行っております。特に会費の納入状況が芳しくないため、経費的にも運営が苦しい状況です。

広報機能

会報の企画編集、寄稿依頼と手作り発行、執行内容のホームページへの掲載維持等です。ホームページは会報と共に全国のスキー指導者の連携と一体感をかもしだすために重要な要件と考えています。是非皆様の投稿やニュース寄稿、ご意見の提供をお願い致します。

会議資料や名簿、議事録、会報も経費節減のため手作りでミスの無いよう事務局内でメールを使いチェックし合っておりますが、不備な点で皆様にご迷惑をかけており申し訳ありません。一層努力してまいります。

事務局員は皆様と出会い、行事や会報によって会員の方々との連携を実感しながら、また楽しみながら仕事を進めております。更に喜びの多いS.I.J.として行きたくよろしくお願い申し上げます。現在の事務局員の担当は下記のようになっています。

事務局長（理事）総括・経理担当 藤木昇（神奈川県）、事務局次長 総務担当高橋イキエ（東京都）
事務局次長 広報担当 関根紀光（埼玉県） 事務局員 滝沢誠（東京都）、阿久津光代（神奈川県）

《昨年度の事務局会議概略》

平成27年度第1回（拡大）事務局会議

実施年月日 平成27年5月31日（日）13時00分～17時00分

会場 連合会館 東京都千代田区神田駿河台3-2-11

議題 規約改定案の確認

来年度役員の各県の推薦状況について

～～

会費納入のお願い

日本スキー指導者協会の運営は、全国各県の指導員会組織（SAJの各県連組織を含む）からの会費が基本になっております。皆様から頂く約74万円の年会費は全国の指導員への情報提供とコミュニケーションの場であるこの会報の発行とホームページの維持に殆んどが費やされています。

また、滞納気味の県もあり当会の運営は財政的に非常に苦しい状況です。このような事情から誠に勝手ながら、本年度の会報発行に合わせ、会費未納の各県の指導員会事務所に請求書をお届けさせて頂きますので、何とぞ年内納入にご協力頂きたく節にお願い申し上げます。

事務局長 藤木昇

会費振込口座 みずほ銀行八重洲口支店 普通 2544124 日本スキー指導員会事務局

～～

《編集後記》

6月の総会で役員が改選され、新たな事業年度がスタートした。これを転機に「スキー界活性化の取り組み」が千葉県スキー指導員会、神奈川県スキー指導員会から紹介された。魅力あるスノースポーツを次世代に伝え、社会に貢献するため、各県での取り組みを、次号では特集してみたい。

指導者各位が様々な現場で「スキー界活性化」のために取り組んでいる事例を、用具を開発しているメーカーやスノースポーツの研究者等と連携して発表する「フォーラム」のような機会が催されることを夢見ている。 M.M

** 編集委員 ** 水島秀夫 藤木昇 高橋イキエ 水島三千夫

2016年度 関係団体一覧

北海道	0144-72-4060	藤島勝雄様方
青森県	0172-48-3490	一般財団法人 青森県スキー連盟
岩手県	019-656-6655	一般財団法人 岩手県スキー連盟
宮城県	022-375-9524	宮城県スキー連盟
秋田県	018-893-6832	秋田県スキー連盟
山形県	023-647-5020	山形県スキー連盟
福島県	0242-62-4504	福島県スキー連盟
茨城県	029-221-7737	茨城県スキー連盟
栃木県	028-625-9111	栃木県スキー連盟
群馬県	027-231-1966	群馬県スキー連盟
埼玉県	048-853-2710	埼玉県スキー連盟
千葉県	047-751-2100	千葉県スキー連盟
東京都	03-3262-2491	一般財団法人 東京都スキー連盟
神奈川県	045-311-8907	公益財団法人 神奈川県スキー連盟
新潟県	0258-82-1680	公益財団法人 新潟県スキー連盟
富山県	076-442-3110	富山県スキー連盟
石川県	076-273-3500	石川県スキー連盟
福井県	0779-65-7174	福井県スキー連盟
山梨県	090-7401-3322	NPO法人 山梨県スキー連盟
長野県	026-264-5888	公益財団法人 長野県スキー連盟
岐阜県	0577-34-3133	岐阜県スキー連盟
静岡県	054-385-5437	静岡県スキー連盟
愛知県	052-757-6277	愛知県スキー連盟
三重県	0593-94-6981	三重県スキー連盟
滋賀県	077-527-8501	滋賀県スキー連盟
京都府	075-692-3487	京都府スキー連盟

大阪府	06-6975-2064	大阪府スキー連盟
兵庫県	0796-20-3735	兵庫県スキー連盟
奈良県	0743-67-0760	奈良県スキー連盟
和歌山県	0736-73-3723	和歌山県スキー連盟
鳥取県	0859-52-2290	鳥取県スキー連盟
島根県	090-8998-1110	島根県スキー連盟
岡山県	086-801-9090	岡山県スキー連盟
広島県	082-293-3230	広島県スキー連盟
山口県	083-927-9655	山口県スキー連盟
徳島県	0883-53-0008	徳島県スキー連盟
香川県	0875-62-6014	香川県スキー連盟
愛媛県	0898-24-0676	愛媛県スキー連盟
高知県	088-841-5361	高知県スキー連盟
福岡県	092-262-1550	福岡県スキー連盟
佐賀県	090-5480-9320	佐賀県スキー連盟
長崎県	0957-34-1716	長崎県スキー連盟
熊本県	096-324-2595	熊本県スキー連盟
大分県	0974-22-0110	大分県スキー連盟
宮崎県	0985-23-6937	宮崎県スキー連盟
鹿児島県	099-225-1309	休会中
沖縄県	098-850-9273	沖縄県スキー連盟

(公社)全日本学生スキー連盟 03-3384-7913
 (公財)全国高等学校体育連盟スキー部 0269-62-4125
 (長野県飯山高等学校内)
 (公財)全日本スキー連盟 03-3481-2315

個人会員募集

日本スキー指導者協会に団体が加入していない府県の方は、個人会員として当協会の会員になることが出来ます。

会員になられた方には、会報の送付や各種行事のご案内などを差し上げます。

お申し込みは事務局におねがいします。

年会費は1,000円となっています。

現在、次の府県の団体は加盟しておりませんので

ご希望の方は、個人会員としてお申し込みください。

◎群馬県、◎新潟県、◎西日本ブロック (=S A Jのブロックに同じ)

S.I.J.のホームページ <http://sij.arts-k.com/> へ是非お越し下さい。



INSTRUCTOR

日本スキー指導者協会会報 (第31号) (非売品) 平成27年10月1日発行

編集人 編集委員会 発行人 坂本 祐之輔

印刷所 水戸屋紙工株式会社 発行所 日本スキー指導者協会事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-15-5-419

TEL & FAX 03-3374-3855 E-mail ikie@nifty.com URL <http://sij.arts-k.com/>